

## 産業構造審議会基本政策部会報告書(平成19年10月)抜粋

(「人的資本」の基礎となる「健康資本」の増進)

○この世代では「健康管理」が長期的な人的資本の形成維持に重要。不健康(病気)は貧困に陥る最大の要因である。逆に健康の増進は、生産性や労働力率の向上を通じ経済成長に寄与するとともに、事後的なセーフティネットへの需要を減少させる。したがって、健康増進を後押しする環境作りが必要である。従来型の研修訓練による人的資本形成に限らず、こうした生活習慣の改善、健康管理、病気の予防等健康増進に資する観点から人的資本形成策に盛り込むべき。その際、健康増進に関する施策は、健康増進とともに医療費の適正化を図ることを考慮に入れ、費用対効果の高いものに重点化することが必要である。具体的には、個人の健康状態・診療記録を生涯を通じて把握・活用できる情報基盤の整備や、個人や保険者における健康増進活動への動機付与等を進めるべきである。

提言6：働くことや生活を楽しむことができることを含めて、健康で自立して暮らすことができる期間(健康寿命)の延伸を図り、失業・貧困に陥るリスクを減少させるため、予防医療の促進とあわせ、「健康会計」の検討等、個人・企業の健康投資の充実を促す仕組みづくりを進め、企業や社会における健康経営・健康増進の取組を促進する。

## 新健康フロンティア戦略アクションプラン(平成19年12月28日決定)抜粋

### Ⅲ 戦略の推進に向けた国民運動

(略)

#### 【目標】

新健康フロンティア戦略を広く周知し、できるだけ多くの国民が具体的に行動することを促すような国民運動を展開する。

<数値目標>

- ・ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合を80%以上とする。 (～平成22年度)

#### 【具体的取組】

(略)

- ・ 企業の健康会計の概念についての研究を行う。(厚生労働省、経済産業省)